

vol.179
無限

1

「資金とリスク」
会社が潰れる
たった1つの理由

記事作成者

曾根 康正

公認会計士
SMCグループ代表
経営コンサルタント

SMC関連サイト

強運会計士の徒然ブログ

<http://smcblog.net/>

SMCグループ代表、曾根が毎日
綴る。毎週月・水・金更新の経営ブ
ログ。



SMCグループはお客様とともに成長し、創業100年企業を創出し続けます。

中小企業応援団

2022.7No.222

SMCグループ
Support Management Consultants

会社にとって資金は「命」そのもの

平素は、私どもSMCグループの活動にご協力賜りまして誠にありがとうございます。

今月は「資金とリスク」について考えてみたいと思います。私は今までに赤字で倒産した会社を見たことがありません。売上が激減して倒産した会社も見たことがありません。大口の取引先が倒産して連鎖倒産した会社も見たことがありません。会社が潰れるときの理由は一つしかありません。それは資金がなくなるからです。大赤字になろうと売上が激減しようと資金さえあれば絶対潰れないのです。会社にとって資金は命(血液)です。会社にとって資金はどれだけ増えても問題ありません。逆に資金は多ければ多いほど効用があると思います。そこで、資金の効用を思いつくまに列挙してみました。

POINT 資金の効用

1. 倒産のリスクを回避できる
2. 設備投資の失敗にも耐えられる
3. 人材採用の失敗にも耐えられる
4. 貸倒れのリスクにも対応できる
5. 余剰資金を運用すると収益が上がる

1.倒産のリスクを回避できる

バブル崩壊、リーマンショック、東日本大震災、新型コロナショックなどの不測の事態が発生すると必ず倒産や廃業する会社が出ます。経営者はこれらの不測の事態が原因で倒産したと思っているようですが真実は不測の事態で倒産したのではなく資金が不足していたから倒産したのです。

2.設備投資の失敗にも耐えられる

例えば1億円の設備投資をする場合に資金を潤沢に持っている会社と資金が不足している会社では設備投資のリスクは大きく違います。資金が潤沢にあれば設備投資のリスクは低くなり、資金が不足していると設備投資のリスクは大きくなります。資金の多寡によってリスクが変わるのです。

3.人材採用の失敗にも耐えられる

人を採用してもその人が給料分を稼ぐかどうかはわかりません。そのために人の採用を躊躇する経営者は多いのではないのでしょうか。しかし、資金が潤沢にあれば人の採用のリスクを取ることができます。

4.貸倒れのリスクにも対応できる

中小企業といえども新規取引する場合の与信管理は重要です。しかし、与信管理を厳しくしすぎると新規の取引先を増やすことができなくなります。やはり、ある程度の貸倒れリスクに耐えるために資金を潤沢に持つことが必要です。

5.余剰資金を運用すると収益が上がる

余剰資金があれば不動産投資や株式投資などで運用益を上げることができます。

以上のように見てくると資金が潤沢にあると、あらゆるリスクをヘッジすることができることがわかります。だから、資金は可能な限り増やす努力をしましょう。

また、資金を増やすために無駄な資金の流出はやめるべきです。無駄な資金の流出の第1番目は節税です。節税の殆どが資金を流出し利益を減らして(業績を悪くして)税金を下げるという行為です。これを勧める三流会計事務所とこれを実行する三流アホ経営者が後を絶ちません。無駄な資金流出の第2番目は社長の見栄で購入する本社ビルや高級車などです。これらの無駄な資金流出はしないようにしましょう。

vol.27

融資の
受け方の
キホン

2

銀行の 財務分析編③ 仮払金と立替金に注意

記事作成者

小川 弘郎

中小企業診断士/社会保険労務士/行政書士/2級FP
技能士/宅地建物取引士/農業経営アドバイザー(日
本政策金融公庫)/MAS監査プランナー(MAP経営)

SMC関連サイト

先行経営Tassei

<https://www.smc-g.co.jp/senkokoei/>

ミライからの逆算経営支援プロ
グラムで下請け脱出経営を支援しま
す!

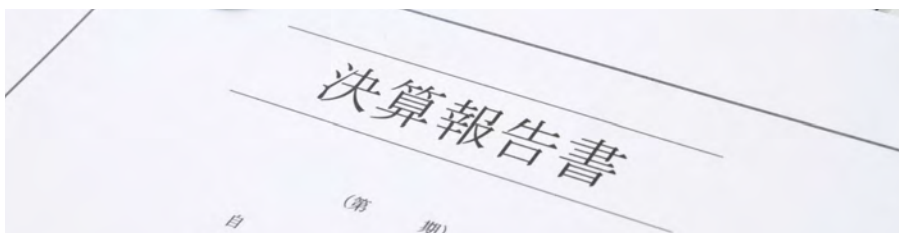


銀行が実態財務を算出する場合に 目を光らす勘定科目と着眼点

実態財務修正とは

銀行は融資を判断する際に財務分析を行います。多くの場合決算書の数値をそのまま使用しているわけではありません。銀行は粉飾決算と社外流出(事業外への資金流用)へ目を光らせているからです。そのため決算書以外の他の資料や企業へのヒアリングに基づき、換価性が低いと判断された勘定科目の金額を減算するなどしています。これを「実態財務修正」と

呼びます。そのため銀行が自社の決算書をどう見ているのかを知っておくと決算書に対する認識のミスマッチが起きにくくなります。今回も前回に引き続き、銀行が実態財務を算出する場合に目を光らす勘定科目と着眼点についてお伝えしていきます。



1. 仮払金

仮払金とは「使い道が不明又は金額が未確定の場合に一時的に支払われたお金」のことです。その名の通り「仮に(一時的に)払ったお金」ということとなりますので、近い将来戻されるお金のはずですが、その為決算書に記載があっても翌期に消えていけば問題無いわけです。ところが何期にもわたって記載されていたり、金額が一定で減額されていなかったりすると本当に「仮に(一時的に)払ったお金」なのか疑わしいということになります。しかも元々がお金の使い道がよくわからない科目ですので、そのような状態であると本当にお金が戻ってくるのか疑問に思えます。その場合銀行内部の財務分析で、戻ってくる可能性が極めて低いお金であり資産性がないと判断されて資産から控除することになります。ましてや仮払金の相手方が社長であったりすると「会社のお金を社長が私的に使ってしまったのではないかと疑われ会社の信用度も低くなります。自社のお金の使い方を明瞭にするために銀行から信用を得るためにも仮払金の計上はできるだけしないようにしましょう。

2. 立替金

立替金とは「会社が一時的に立て替えたお金」のことです。会社業務をやっている一時的に取引先や従業員等が負担すべきお金を一時的に立て替えることはあり得ます。そのため決算書に立替金勘定があること自体は問題ありません。立替金も仮払金と同様、一時的に決算書に記載があったとしても翌期に解消されていけばそれで良いわけです。ところがこちらも仮払金同様、何期にもわたって記載されていたり、金額が一向に減っていないと「本当に(一時的に)立て替えたお金」なのか銀行は疑問に思いま

す。一時的に立て替えたはずなのにいつまでたっても戻されないというのはおかしな話です。立替金もできるだけ計上しないようにしましょう。



いかがでしたでしょうか? どんなに立派な決算書を提出したとしても銀行がその決算数値をそのまま信用するケースは少ないです。決算書の数値より実態は財務内容の悪い会社とみなされていることもあります。ましてや「何の目的でそのお金を使ったのかよくわからない」科目が計上されていると、「不適切なお金の使い方をする会社」というレッテルを知らず知らずのうちに貼られている可能性もあります。銀行の信用を得るためにもできるだけ仮払金や立替金を計上しないようにしましょう。

次回も引き続き銀行がチェックする勘定科目と着眼点をお伝えしていきます。

人件費の面から 見る人材採用 意思の決定基準とは

記事作成者

船田 卓

税理士

SMC関連サイト

キャッシュを増やすヒケツ

<https://www.smc-g.co.jp/cashacademy/blog>

会社を絶対潰さない為に!!
キャッシュを増やす方法を学ぶサ
イト



直接部門の人材採用の意思決定基準は 給料の〇倍稼ぐこと

今回は会社の人件費の面から見た直接部門と間接部門の人材採用についてお話しします。

直接部門の人材採用の意思決定基準

直接部門の人材採用の意思決定基準で最も重要な
のが、給料の3倍稼げるかどうかです。
営業職であれば、粗利率の3倍稼ぐ、製造であれば生産
高を給料の3倍あげることです。
しかし、社員の中には、給料の3倍以上を稼ぐことがで
きる人もいれば、自分の給料も稼げない人もいます。
給料の3倍稼げる人の給料が「投資」、稼げない人の
給料は「コスト」と考えると分かりやすいでしょう。でき
るだけコストを下げ、投資とするためには、教育が必

要です。
まずは、3倍稼がなければいけないことを社員に自覚
させることを行います。
そして、社員を教育するのは、もちろん上司が指導教
育することになります。
このことにより、コストを減らし、投資を増やすことが
人材採用のポイントです。
なお、指導を繰り返し行っても3年でものにならなけ
ればアウトです。

間接部門の人材採用の意思決定基準

間接部門の採用は、直接部門と違い、自分で稼ぐこ
とができませんので、すべてコストです。
このため、直接部門の採用以上に慎重になる必要が
あります。
まずは「採用前に業務の洗い出しをすること」です。
間接部門の人を採用し何をさせるのか。なんとなく
間接部門の人が忙しそうだから採用する、こんなこ
とをしていては、会社に利益は残りません。
次に「業務のやり方の見直しをすること」です。
本当に人を採用する必要があるのか?業務のやり方
を見直すことができるのか?今いる人で業務をこなす
ことができるのではないかなど一旦見直しをする必

要があります。
この見直しをしないで人を採用し始めると、常に人
が足りない状況になり、利益を圧迫していきます。
そして最後に「ITの活用で極限まで業務を削減する
こと」です。
ITを活用し間接部門の生産性をあげ、無駄な人員
を採用しないことも重要です。
間接部門の人材は、「業務の洗い出し」「業務のやり
方の見直し」「ITの活用」の3つを行った後に、採
用の判断をすることになります。
これが間接部門の最も重要な意思決定基準です。

間接人員の直接部門との兼務

たとえば、間接部門の経理を一人採用したとします。
経理で採用したので、経理のみの仕事をさせる。これ
ではコストにしかありません。
そこで、直接部門の業務を兼任するというのも一つ
の方法です。
中小企業の経理は、先程話した「業務のやり方の見直
し」「ITの活用」で作業時間を減らすことができます。毎
日勤務している場合、通常午前中経理の仕事ですれ
ば、昼からは暇になるはずですが。
空いた時間を埋めるために、何か仕事を作っているこ
とも多いのではないのでしょうか。
例えば、間接部門の人を採用した場合、午前中は経
理を中心に間接業務、午後からは営業に出てもらい

直接部門として稼いでもらうなどです。
この兼務の体制が、もっともコストになる間接人員を
活かす方法です。
従業員が50人を超え、間接部門の仕事がきちんとあ
るなら良いですが、そうでなければ、兼務という働き
方はお勧めです。



(注)近年、労使トラブルによる会社の責任や多大な経済的・人的コストの発生の事例が多くなっておりとてもデリ
ケートな問題となっております。今回は数字の観点から「投資」や「コスト」という表現を用いましたが、くれぐれも
社員の方にそのような言葉をお使いにならないこと、また、採用時の条件を無視して強引に職務内容を変更する
とトラブルになりかねませんので、職務内容の変更については顧問の社会保険労務士の先生や弁護士の先生に
ご相談ください。

記事作成者

小谷 亮太

デザイナー

SMC関連サイト

SMCセミナーカレンダー

https://www.smc-g.co.jp/service/keiei_hasshin/seminar_academy#calender



最新ニュースとセミナー情報

新ロゴに込めた思い

「SMCグループはお客様と共に成長し、創業100年企業を創出し続けます。」をミッションとし、今後の更なるサービス、事業拡大と成長を見据え、ビジネスを成長させるための差別化要素としてデザインを捉え、より強いコーポレートブランドを創っていく活動の第一歩として2022年7月1日(金)コーポレートロゴをリニューアルいたしました。2つが重なる六角形は(無限・永続性)を表し、永遠の成長、拡大していくことを表現。それらを囲む輪はITの強みを活かし、全国のお客様に支援を行う時代に合わせた対応力をイメージしております。



税務セミナー開催のお知らせ

SMC税理士法人では、経営者様、事業主様、経理担当者様を対象としたセミナーを随時開催しております。他にも起業を目指す方に向けたセミナーなど、どれも知っておいて損はない情報が盛り沢山の内容となっておりますので、是非ご参加ください!

開催スケジュールは弊社担当、またはホームページ【https://www.smc-g.co.jp/service/keiei_hasshin/seminar_academy#calender】をご覧ください。

2022.07 SCHEDULE セミナーカレンダー



SUNDAY	MONDAY	TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	FRIDAY	SATURDAY
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6 利益とキャッシュの最大化 14:00-16:30	7 起業を考えている方のスタートアップ 14:00-15:00	8 中津川会計塾 15:30-17:30 診断士チームPDCA 15:30-18:00	9
10	11	12 事業再構築補助金 13:00-14:00 確定拠出年金 16:00-17:00	13 コロナ融資はどう返す!? 16:00-17:00	14 試算表の読み方セミナー 14:00-15:00	15	16
17	18	19 決算書の読み方セミナー 15:00-16:30	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

名古屋本社

愛知県名古屋市中村区名駅 4-5-27
大一駅ビル 5F
TEL/052-446-5626

東京支社

東京都中央区八丁堀 2-8-2
八丁堀共同ビル 5F
TEL/03-6280-3031

多治見事務所

岐阜県多治見市太平町 6-19
SMCビル 1F
TEL/0572-22-0626

中津川支社

岐阜県中津川市栄町 2-20
丸山ビル 2F
TEL/0573-62-3435

埼玉支店

埼玉県東松山市箭弓町 1-17-9
ルネスカーサ 105号室
TEL/0493-59-9427



SMCのサイトが
新しくなりました!



SMC公式サイト
<https://www.smc-g.co.jp>